

金賞「無病息災を願って」 四季の部 八王子市 若杉 慶子



若湯が少し残っていると思い、二階の寝床で休んでいた所、 天井はぐるぐる回り、 十八年前の平成十二年十月二十日朝早く、 私 病 近くの大きな病院へ救急車で搬送され、 別格本山高幡山金剛寺

自宅の廊下で腰が抜け、

前の日

この般

夕方に目を覚ますと

夜八時すぎに脳梗

貫主

杉

田

純

塞と診断され、そのまま入院という状態に。その後医者の診断によりますと糖尿 病による合併症と言われ驚いたのを覚えています。 四十五歳過ぎ頃、 糖尿病と診断され、 今後は治療をし生活に気をつけるようと

い間の蓄積で五十歳の時に脳梗塞で倒れるという事態になり、 注意されたのですが、生まれてから大きな病気もしたことがなく、風邪にかかっ 晩寝れば治るという病院知らず。大学過ぎてからの暴飲暴食がたたり、 首から下は右半身不随、左半身は感覚障害。 食事するのも嚥下機能が麻痺という状態で、 最初の二週間は風呂にも入れ 顔は左半分顔面神 長

下を歩き、少しずつ歩けるようになりました。食事も一時間以上かかっていたの が普通に見えるようになり、 ようやく六十歳になってから元気を取り戻した感があります。そんな私が川澄御 人院生活を楽しくするにはどうしたら良いか、又五十歳で倒れましたので、もう 度社会復帰をするにはどうしたら良いか、 それから五十代の十年間は病との闘いでいろいろな方に迷惑をかけましたが ただ一つ性格がアッケラカンとしていたので、 だんだんと早く食べられるようになり、 頑張っていた所、十二月十五日の朝起きたらそれまで二重に見えていた物 時間があればふらふらしながらも屋上で毎日歩き、夜は寝る前に廊 みるみるうちに歩けなかった自分が少しずつ歩ける その為に治療からリハビリの病院に 約三ヶ月で退院できました。 泣いても病気が治る訳ではなく、

御前が守ってきた高幡山を、 前のあと高幡山の三十四世を継承することは青天の霹靂でした。 と同時にお詣りして良かった、又来たいと思う寺をめざしたいと思います。 私の好きな言葉「和顔愛語」 を以て皆さんをお迎え 秋山御前

現代の世相から(62) 廣澤隆之お不動さまの心―(一〇二)

ることではじめて自分が日本で

寺で生活をしていると多くの人との出会いがあり、出会いの人との出会いがあり、出会いの人との出会いがあり、出会いの人との出会しがあるとが多くあります。最近もそのような機会に恵まれました。

お檀家の方が亡くなり、亡くなった方の息子さんとお兄さんなった方の息子さんはまだ若いのでもとの付き合いが全然ないのでもとの付き合いが全然ないのでのです。一見すると今風の浮ついた若者かと思いましたが、話いた若者かと思いましたが、話いた若者かと思いましたが、話いた若者かと思いましたが、話いたってきるとしっかりしていました。看護師をしているそうで、口ぶりもやさしく好感のもてる口ぶりもやさしく好感のもてる

存じ上げていました。田舎の素に家族のことも徐々に話してくに家族のことも徐々に話してくに家族のことも徐々に話してくれました。彼には兄と姉がいて、本来なら兄が寺に来るべきだが本来なら兄が寺に来した。そのさそうに話していました。そのお兄さんは都内でイタリア料理お兄さんは都内でイタリア料理さん。この兄弟の祖父母はすでにた。この兄弟の祖父母はすどになっていますが、私もよくた。この兄弟の祖父母はすどに

落差に驚きました。 を開いていることのイメージの が都内でイタリアレストラン 朴な生活をしていた方のお孫さ

翌日、そのレストランを経営さんと挨拶にやってきました。 はイタリア料理を三年間学んでいたはイタリア料理を三年間学んでいたが謙虚で好感がもてました。彼が、言葉遣いが丁寧で話しぶりが、言葉遣いが丁寧で話した。 たけでなく多くの国舎で本格的なイタリア料理を三年間学んでいた そうです。その間に多くのことを学んできたと眼を輝かせながら話していました。 イタリア科 でなく多くの国舎の人と出たが、言葉遣いがしていました。 はイタリア料理を三年間が、言葉はいるがしていました。 イタリア人 とい、民族間の差別や宗教のことによい、民族間の差別や宗教のことによい、

しょう。

田舎の素 感じることです。外国で生活す のその間 とを強く意識するようになった。 その間 とを強く意識するようになった をのことです。特にイタリアは がいて、カトリックの国ですから教会に 中し訳な もらい、日本では宗教について もらい、日本では宗教について を目の当たりにして、大いに学 を目の当たりにして、大いに学 を目の当たりにして、大いに学 を目の当たりにして、大いに学 を目の当たりにして、大いに学

生きてきたことを深く見つめなりわけ日本で生活しているときりわけ日本で生活しているときには宗教については無自覚であっても、外国に行けば否が応でも宗教と結びついた生活を目の当たりにします。彼のようにイタリアの田舎で生活すればそのとは肌身に感じるはずです。 彼は学校では学ぶことができないことを身をもって生活の中で学んだので

なったおく のです。ここ のです。こ のです。こ かたび亡く

さんが栽培した野菜をお店で出さんが栽培した野菜をお店で出たのような話しを聞いていた私このような話しを聞いていた私で、そこで着きました。というのも今回の父親の死をきっかけに都内のレストランを閉じて地に都内のレストランを閉じて地の近くで生活をしながらささやかな料理店を開くつもりであるというのです。

世界への孝行も考えているうち は結婚もし、幼い子供を抱 えています。都会育ちの奥さん がよく理解をしてくれたと感心 しました。彼は約十年間都内で レストランを開いているうちに をくのことを見失ったというの です。いつも収益を求めて経営 し、イタリアの田舎で学んだ本 もいる外理の原点から離れてし をきっかけに、そして遺された をきっかけに、そして遺された



文殊菩薩 江戸時代

に、もう一度自分の料理の原点に戻ろうと思ったというのです。は戻ろうと思ったというのです。はいばなりませんが、奥さんとおし合って思い切った決断をしたとのことでした。そしてイタリアで人々が教会を大事にまもっていることを学び、自分もこれから寺との結びつきを大事にしたいと言ってもらいました。

ただ波が日本人は無宗教だとし合えたことに感激しました。と合えたことに感激しました。私ははじめて会った青年と、私ははじめて会った青年と、

ちの生活の中でどのように仏教 さんにも少しは納得してもらえ して一緒に来ていた看護師の弟 とは異なる宗教感情があるとい ことを約束してくれました。 のかも説明しました。そして二 が生き続け、寺が存続してきた たかと思いました。そして私た う説明をしました。彼にも、そ 原点であり、それはキリスト教 心洗われるのが日本人の宗教の し、谷川の清らかなせせらぎに れば不思議な感情がわき起こる そこで、誰でも富士山を仰ぎ見 なのかと問い返してきました。 民族だと言うと、 私が日本人は宗教心を強く持つ 話した時だけは否定しました。 人の兄弟は寺に参り、 ただ彼が日本人は無宗教だと 彼はどうして

したねと挨拶ができました。ても心が清々しくなる出会いをしました。翌朝の本堂でのお勤めの時には兄弟の祖父母の位牌めの時には兄弟の祖父母の位牌がある。

●大正大学名誉教授 ●大正大学名誉教授 ● 本語学主戦

奉 納 御 礼

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申しあげます。 (敬称をすべて省略させていただきます)

品名 八 角 外 置 奉納 灯 者 籠 株式会社 唐金製青銅色仕上 ア ビ ス ١ 対

代表取締役 進

博

体

古河市

尚

重

勝

小平市 松戸市

藤 Ш

正

史 子

黑 山

浄

横浜市

南

早百合

野市

和 近

田

元

寄進者芳名

笛

吹

市

九

四 治

療

院

品名

天

の

鈴

五鈷杵 大日堂

:用座布!

寸

奉納者

日野市

奉納者

日野市

木

貞

子

藤

美

境内整備緑化資金

日野市 (平成三十年五月一日~三十年七月三十一日) 渡 邉 良 勝

S

が

花球根

熱海市 横浜市 日野市 町 曲 市 網 柴 樋 之口 野 田 順 ゆ 慶

彦根市 西 澤 谷 美左子 かり 回男

一〇個

相模原市

越

+

子

(平成三十年五月) 〇〇個 Ħ. 一個 多摩市 田

幟 平成三十年五月一日~三十年七月三十 旗 奉納者芳名

月

相模原 八王子 八王子 日野 Ш 越 市 市 市 市 市 宮 木 木 有 貝 泉 田 下 由 良 雅 義 康 美 子 徳 弘 輔

□ **奉納者芳名** 昭島市 美坂 佐子 康 日

(平成三十年五月一日~三十年七月三十一日)

体地

蔵尊

式鬼・7/5井尊師)・/54年 (導師)・/7/5井韓師)・/7/5井韓師(29・25年 (本年) 10 (20) 参拝団・/6/4 (本元) 11 (20) 参拝団・/6/5 (本元) 22 (20) 参拝団・/6/5 (本元) 23 (20) 参拝団・/6/5 (本元) 24 (20) 参拝団・/6/5 (本元) 25 (20) 参拝団・/6/5 (本元) 26 (20) 参拝団・/6/5 (本山)・/6/5 (本山)・/6/5



施餓鬼大法要 8/15



藤蔵・勝五郎生まれ変わりゆかりの地記念碑除幕式 5/20



1800枚の中から~写真コンクール審査 7/27



成田山勧学院生来山 6/8



賑う境内~あじさいまつり 6/17



両祖大師ご生誕を祝う~青葉まつり法要 6/15



青葉まつり記念法話~有松孝真先生 6/15



茶道教室の生徒さんのお点前で~薄茶接待



参道を彩る七夕飾り 6/28



晋山慶祝の纏振り~江戸消防記念会 6/12



懇切丁寧に〜牧 宥恵先生の写仏教室 6/17



「来年も綺麗に咲いてね」あじさい毬切り 7/9

披露いたします。

家の皆様約三〇〇名にご臨席いただきました。

法要にて読み上げました新貫主の伝燈奉告文をご

當山第三十四世

杉田純一貫主晋山式

営まれました。 営まれました。 当日は江戸消防記念会 奉告法要が勤修されました。 当日は江戸消防記念会 等力区の皆様による木遣りの先導にて参道商店会を お練り、不動堂にて記念大護摩供、奥殿の重文不動 お練り、不動堂にて記念大護摩供、奥殿の重文不動 お練り、不動堂にて記念大護摩供、奥殿の重文不動 お練り、不動堂にて記念大護摩供、奥殿の重文不動 お神り、不動堂にて記念大護摩供、奥殿の重文不動 お神り、不動堂にて記念大護摩供、奥殿の重文不動 お神り、不動堂にて記念大護摩供、奥殿の重文不動 お神り、不動堂にて記念大護摩供、奥殿の重文不動 はいました。

山川 長様、 岡部快圓御貫主様をはじめ宗派内外の御寺院様、 薬王院菅谷秀文執事長様、 院亀谷英央御門跡様、 言宗管長中村元信猊下、 法要には真言宗智山派管長小峰一允猊下、 崎大師平 大本山成田山新勝寺橋本照稔御貫首様、 - 間寺藤田隆乗御貫首様、 真言宗智山派芙蓉良英宗務 真言宗善通寺派大本山隨 別格本山大須観音寶生院 大本山高尾 新義真 大本 檀 心 Щ



法要に先立て法燈継承式



駅前参道からのお練り



不動堂にて記念大護摩供



木遣りの先導で入山



小峰管長猊下からのご祝辞

れこの冥覧を垂れ給い二利双修の密行を成就せしめ給わんことを



重文不動三尊にご奉告



清水法類会長よりご紹介

を掲げて学匠輩出

る古刹なり

爾来壱千壱百有余年

累代師資相承せられ遮那の法

加うるに當山は坂東

に至るまで代を累すること三十三世

衆生済度の方便いっときも欠く

拙衲純

別格本山

不動尊信仰濫觴の練若にして中興第一世儀海上人より先師祐勝大和上

世に学山として聞こえたり

別格本山高幡山明王院金剛寺は大宝草創と傳え清和陽成面帝勅願に

歴代傳燈諸阿闍梨耶の寳前に白して言さく

更には山内鎮守五部権現諸神

謹み敬っ

て真言教主大日如来而部界会諸尊聖衆教令輪者不動明王

別しては真言八祖中興興教大師

原ねみるに真言宗智山派

導を仰ぎ且つ檀信徒の信援を願い山内和合を専らとし自ら研鑽を以 唯願くは今日以後祐雅祐勝両大和上の遺訓を尊び遵承し先輩諸友の教 灯の継承を奉告し併せて一山の整備伸長を誓うものなり て寺門興隆宗団発展の大道に迷わらざらん事を期すのみ くは本尊大日如来不動明王並びに諸大尊者末資が請願を哀愍納受せら トして晋山の厳儀を修するにあたり謹みて身の曼茶道場を荘厳して法 本日吉辰を

ば重責に堪えざらんことを怖る

責を担うにあたり

代諸徳の余慶を浴し檀信徒の信望の帰すべき高幡山金剛寺の住職の 高幡山明王院金剛寺の第三十四世の法灯を継承する栄誉に預り浴し

重

少衲浅学非才にて器小さく徳その薄きを顧りみ

らずも一山の推挙を蒙り光輝ある密門蘭若の後董を拝して ることなければ高幡不動尊と呼ばれて霊威江湖に轟けり

平成三十年六月十二日

別格本山高幡山明王院金剛寺 中興第三十四世大僧正純 敬白

秋 行 事 案 内 行われます) (毎月十五日にはお焚き上げ)

が

第

月

ござれ市 フリーマ i ・ケット

○○○○○○ 28242321169 日日日日日 金月祝金日 田 彼岸会法要 月例写経会 〈午前七時〉大日堂 〈午後一時半〉 (がらくた市

法話

Щ

I内僧侶

法話

Ш

内僧

诏

`

記念法話 秋季大祭大般若会 お花講総登場千体地蔵尊月例法要〈午後二時〉 講師 坂東三十三観音第十番札所 お花講総登嶺日

正法寺 ご住職 中

嶋

栄先生

題

おもてなしの心

○○○○◇ 21212114 日日日日十 日日日日十 ござれ フリーマ ĺ ナケット (がらくた市

月例写経会〈午後一時半〉 多摩八十八ヶ所巡拝結願法要 法 話 Ш I内僧侶

念法話 講師 大本山髙尾山薬王院教務部長

八王子市髙楽院 ご住職 佐藤秀仁先生

「巡礼のこころ」

※菊の育て方講習会も行われます。

十月三十一日、

当日申込・参加費千円・問い合せは日野市観光協会

時から即売されます

ÎEL

四季の部

2724日(土) ~11 月 18 日 第四十八回 ·体地蔵尊月例法要 日 日 高幡不動尊菊まつり 〈午後二 時 法話 (下段参照 Ш I 内 僧 侶

00

一月中 七五三祈願

○28日(日)

月例祭(ご縁日)

法話

山内僧侶

〒

-段参照

〇 10 日(土) ~17日(土) 五重塔ブルーライトアップ 世界糖尿病デー (十四頁参照

日 フリーマーケット

28242322222118181711 日日日日日日日日日日日 $\widehat{\pm}$ 日 〜 〜 3018 日(金 金) 高幡写仏会 高幡不動尊もみじまつり 講師 牧宥恵先生 (九頁参照

000000 日 ござれ市 がらくた市

月例写経会 〈午後一時半〉 山内僧侶

木木水 · 2323 日日 祝祝 萬燈会・たかはたもみじ灯路(九頁参照

嵯峨御流華展

花塚供養

千体地蔵尊月例法要〈午後二時〉 (ご縁日) 法話 山内僧侶 法話 Ш 内 僧

诏

兀 + 八 高 幡 不 動 尊 菊 ま つ 4)

皆様お誘い合せてご鑑賞下さい。 恒例の高幡不動尊菊まつりが左記の 通 ŋ ·開催されます。

十月二十七日

日 日

七五三参詣」

繁雄

参 会 月 出 品加場日 厚物

特別 畄 展

審 査

多摩菊花連盟参加十 高幡不動尊境内 管物・一文字・懸崖・福助 Ť 市の菊作り愛好家 一月十八日

参加十一市の特設花壇及び特志者の大作 るま・盆栽・切花等一、二〇〇点余り

銅賞「菊も歓迎、

伊東

八王子市

`

内閣総理大臣賞をはじめ各大臣賞・ り(千輪咲・三重塔)等も出品。 一月五日・十三日の両日に行われ 東京

※期間中は毎日菊作りの相談及び菊苗の販売が行われます。展示され た菊花のうち切花は十一月七日・十四日の両日朝から、福助は十一月十日午後一 都知事賞等が贈られます。

又、期間中のご縁日・日曜・ 五八六―八八〇八)まで。 バスをご利用下さい 祝日等は七五三詣とも重なり大変混み合いますので、 なるべく電車・モノレー

五 = • 新 生 児 祈 願 の 案 内



月中毎日、 お子様の健康をお祈りする七五三祈願は十月~ 新生児祈願は一 年中ご修行しております。

◎iJ修行時間 午前九時~午後四時

祈 願 料 金三、〇〇〇円以上

お札・供物料含む

※堂内ではお子様を中央前に、 にお座り下さい。 ご家族の方はその後ろ

高 幡 動 尊もみじま ŋ

十一月十八日(日) \ + -月三十日 金

大師堂・鐘楼堂付近のもみじは見事でライトアップも予定さ 約三十年の稚木一○○○株が集中しています。境内から裏山にかけては、樹齢二百年以上の れております。 樹齢二百年以上の古木三百株 特に五重塔

もみじまつり期間中の主な行事・催しは左の通りです。

十一月十八日 十一月十七日・十八日 ござれ市 高幡写仏会

十一月二十一日 月例写経会 法話 山内僧侶

)灯路

一月二十二日・二十三日 月二十二日・二十三日 萬燈会・たかはたもみじ 嵯峨御流華展

十一月二十三日 一月二十四日 千体地蔵尊月例法要 花塚供養

月二十八日

萬燈会 • たかはたもみじ灯路

現出されますのでお楽しみ下さい。 置灯明が点灯され、「たかはたもみじ灯路」尚、両日とも午後六時から門前町一帯で、 せていただきますので、 七難即滅・七福即生並びにご先祖様の追福菩提をお祈りさ Ш では左記の通り二日間に亘って萬燈会を奉修し、 皆さまお誘い合せてご参加下さい。 約二四〇〇個の の幽玄な世界が 皆様

月 H 一月二十二日 (木) · 二十三日

 \mathbf{H}

時

十一月十七日(土)・十八日(日)

(両日共、

牧宥恵師 正午より

の作品

郎

子孫が語る勝五郎

生ま

など

슾 場 高幡不動尊五重塔 話・詠歌奉詠

萬法 燈 会 (塔院)

塔婆供養(五重塔前 奉納コンサート

燈り 金一、〇〇〇円也 一、〇〇〇円也 (一人につき)

御み

経木塔婆 浮 燈 明 五〇〇円也 (一霊につき (五重塔の池に浮べる燈明です)

(9)

大 提 灯 奉 納 の お 願



募集要項は左の

通 ŋ

萬燈会及び大祭 用大提灯(ご奉

尚、

げます。

(ご連絡下されば申込書をお 志納金 申 当山事務局又は 当山事務局又は 当山事務局又は 宝輪閣受付

日

時

十月十四日

 $\widehat{\mathbb{H}}$

届け致します)

幡写仏会 お 知 らせ

本尊不動明王に奉納する写仏会です。自分の手で仏様のお姿を写経のように写して、 その 後、 御

不動明王のご加護を授り下さい。不動明王のご加護を授り下さい。というでは、お不動様との法縁と写仏を自身の浄行とされ御本尊をだき、お不動様との法縁と写する。是非この機会に御参加い 写仏布教の第一人者、画僧牧宥恵師を招いて開催しています 当山では年二回(あじさいまつり・もみじまつりの会期中)

午後五時三十八年

分

内

容

会 場 宝輪閣地階ホール(両日共、午後一時~午後四時(受付 を展示します)

弐午午午 千後二 時時時 写法 話

(材料費含む 写仏奉納大護摩修行

会

◇お申込 高幡不動尊事務局まで

)四二<u>-</u>-Ħ. 九一 -001111

藤蔵・勝五郎生まれ変わり記念日 回 講演会のお知らせ

では、十月十日に迎える「藤 せてご参加下さい。 を開催致しますのでお誘 日」に際し左記の通り講演会 蔵・勝五郎生まれ変わり記念 まれ変わり物語探求調査団 市郷土資料館の勝五郎

〇 会場 ○募集 二百名(直接会場 五重塔地階大ホール 午後一時半~ 兀 時

記念講演会 ○参加費…無料

講師 今井秀和氏 化大学講師 (大東文

演題 勝五郎の転 の異世界 寅吉

『再生記 聞 ح 屲

その他、 ぼ小僧 映像紙芝居 境異聞 生まれ変わりの勝五 『ほどく

(問合せ) にご案内します。

※終了後、 れ変わり物語

藤蔵墓所

記

念碑

H 野市郷土資料館

||一五九二||〇九八|

者は次の通りです。

-五回あじさいまつ

り十日程早くなりました。 今年は梅雨明けが記録的に早く、 方々がご来山なさいました。 七月は酷暑となり、 あじさいの開花も例年よ 涼を求めて多

日 本拳法奉納大会610

大学OB、

黒綾館

||猷塾

三十五回目を迎えた日

1本拳

南平拳友会、 拳練会、

青葉拳友会・第

拳水会・府中道場

三二普通科連隊

第三四普通

七名の参加で終日熱戦が繰り 広げられました。 法奉納大会は二十四団体 本年の参加団体と各部受賞 二 五

通科連隊

第

偵察隊

庁クラブ

一段以

上の

優

勝

玉置

優勝

中矢

位

鈴木健太郎

科連隊板妻拳志会・普通科教

導連隊滝ヶ原拳法部・

明治学院大学・関西学院大 國士舘大学・駒澤大学 慶應義塾大学・ 早稲田

関西大学OB 明治

学〇B・

央大学・明治大学 立教

敢闘賞 一段の 部部 森田富美也・植木大介 坂怜亜 勝 宇山 岩津風太

優勝 位 小川 石和 Ш 下 友太朗 明

女子の部も熱戦でした。 〜日本拳法〜

八木

武寛

今年も無事に

○ライト 通りです。

コ

. タ

ト空手

______ 「ケリ」が決ったか?

~日本拳法~

敢闘 賞 橋本慎也 中絢 也 甲 高崎吉人 一斐義隆

○初段 の部 優 勝 伊 奈 貴

ことを嬉しく思

三 優勝 位 力丸

高幡

不動尊で空手の修行に

励

ありがと

うございました。」 みたいと思います。

大宮

敢闘賞 菅田蘭丸・塚本雄介 崎 ・高橋和希

○級の 部

準 優 -優勝 勝

位 中本 尚太

敢闘賞 ○女子の部 高橋和希 大野直人・ 高橋 前田賢駿

-優勝 勝 位 石田 怜那 有里

が披露されました。 ライト 厚板の試割 グローブ着 コンタクト



銅賞「ツーリング仲間」 あじさいの部 昌利 日野市 橋本



がいとすんなり割れてよか

板を初めて割ったけど、

凛々しい演武 ~空手大会~

貴重な体験が出来ました。」

努力賞

河井翔太郎

ありがとうござい

まし

た

敢闘賞

油原

尚今年の参加団体は日

大会当日は境内にて演武 納 大 슾 6/24

空

手

奉

各賞受賞者は次の

王子支部・空手道武現塾の皆 不動会・日本空手道不動会八 手道不動会本部・空手道多摩 本空

全国俳句大会

あじさいまつり全国俳句大会

が決まりました。 上位入選者〈一位~三位 の先生方に各七十句選を依頼 し合計点で上位三十名の入選 八句の応募があり、 一二五九名

8清水 ⑩小倉くら子 ⑥長谷川 |直に声を交はしつ松手入 新座市 ⑨ 関 口 ⑤矢島 ⑦宮島ささえ 早坂 安田

短歌大会

8/5

⑫柳瀬 ^⑬沢田 ⑪酒井

∞小宮 26植山 @町屋八重子 20井上千代子 ② 問霜智佳子 酒井 鍵和田秞子・柏田 大久保白村·大竹多可志 兼題の選者は次の先生方で (敬称・肩書略・五十音順 貞雄・鈴木 鶴麿・星野 悦男・棚山 ・笹木 山崎千枝子 ②5 竹 中 ② 生 江 ⑪萬代 ⑪坂野 迎佐々木リサ **②小原万津枝** 浪雅 波朗 節子 弘

学僧の燭を継ぎ足す青葉闇

(王子市

阿部

礼交す紫衣の涼しき新貫主

表彰式・記念俳句大会 8/4

肩書略・五十音順

長澤 ちづ・

大河原惇行・狩野

弘男

8/4

三十名が表彰されました。 雑詠二句で二七〇名の方が出 幡不動尊を会場に盛大に行わ 小島健先生による『人生に効 れました。当日の句会は当季 記念俳句大会は八月四日高 出席諸先生方の選で上位 俳句』と題しての記念講 当日は俳人協会理事

小島健先生の記念講話



銅賞 「切花前にアジサイ談義」 道行

生は次の方々です。 評が行われました。尚、 席があり、諸先生方による講 六首の投稿がありました。 講評をおつとめ下さった先 表彰式には約一〇〇名の出 短歌大会は二〇三名・四 (敬称 選者

御貫主様はシキミの枝を折り取りて 尺取虫はかぜにゆれおり あじさいの葉の切り岸に陽をあびる 上位入賞者〈一位~三位 病布市 石川 淳子

われに給ひき去年の二月に

⑫石井 じっくりと聴く草木の言い分

⑦河北

⑤渡利

⑨許斐

⑪土信田芳江

した場所は

函館

あじさいの部

26石坂 24宮本 ② 杉 山 ∞石川るみ子



全国俳句大会表彰式 8/4

ただき、 本年は八一三名の方に解答 ∞六月に境内で光を放つ生物 ◎高幡不動尊山内八十八ヶ所 の石仏は 全問正解は五二四 **「ゲンジボタル」** 高幡不動尊」 「弘法大師」

山内八十八ヶ所めぐりクイズ

慶 子

山内八十八ヶ所クイズの正解 不動明王がお持ちの剣は

⑩土方歳三の肖像写真を撮影

∞弁財天が持っている楽器は

◎ 京王ライナー のマスコット カエル」

18渡邉 ⑯髙橋

⑰乙幡

⑤茂山久仁子

綾子

@黄金井春男

Ϣ仏教に関係がある行事は 青葉まつり」

した日野市のチームは トップリーグ入り

「レッドドルフィンズ」

⑩戊辰戦争の勃発から今年で 一五〇年」

⑩日野市の桜標本木があるの

あじさいまつり写真コンクー

とたくさんの作品を応募いただき、七月二十七日に審査会が行われ、 今年も総数一七八八点 (あじさいの部一○六三点、 四季の部七二五点、 合計一〇八点が入賞しま 応募人数三五五名

丘ショッピングセンターAB館五階ブリッジギャラリーに展示します。 入賞作品は九月末日まで五重塔千体堂に、その後十月二十五日~三十日まで京王線聖蹟桜ヶ

一位入賞者 銅賞以上

〈あじさいの部〉

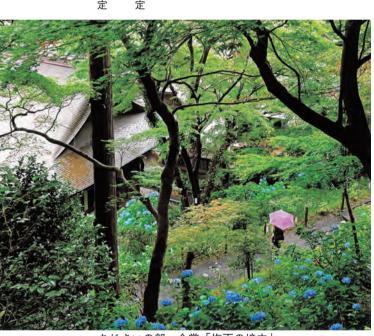
日野市 設楽 誠一 六月一日号掲載予定員 八王子市 佐々木芳子 次頁掲載員 府中市 能登 正俊 下段掲載

昭島市 野武 高行 六月一日号掲載予定伊勢原市 青木 静子 下段掲載

日野市 橋本 昌利 本号十頁掲載日野市 羽賀 道行 本号十一頁掲載

〈四季の部〉

賞 町田市 宮澤 侑子 三月一日号掲載予定賞 文京区 小池 茂 十二月一日号掲載予定賞 文京区 小池 茂 十二月一日号掲載予定賞 八王子市 真次 弘 本号十六頁掲載予定賞 八王子市 若杉 慶子 本号巻頭掲載



あじさいの部 金賞「梅雨の境内」 府中市 能登 正俊



あじさいの部 銀賞「にこにこ地蔵さんに守られて」 伊勢原市 青木 静子



四季の部 銅賞「みんなでお散歩」 調布市 伊藤 務

に参 加

「出会いの人生から学んだこと_ 五月大祭講演 弁護士 菊地幸夫先生

していただき知ることができまし 弁護士の立場から現在の状況を話 日はありがとうございます。 清瀬市 沖 山

のこと、日々の生活でも参考にし ら話をすすめていくことが大切と あるとのこと。 四十代五十代の薬物事件の増加が に思いやりと良い点を見つけなが 若い世代の犯罪者については特 人口減少の中、 強迫事件が増え

ました。先生の真摯であふれるよ うな愛情を感じました。 初めて五重塔で講演をうかがい 杉並区

ります。 傾けて頂いた事、 拙い話にもかかわらず熱心に耳を 〜菊地幸夫先生からのお手紙 多くの方にお集まり頂き 歴史のある緑深い高幡不 大変感謝してお

> 様の益々の御発展を祈念しており 動尊でのこのような機会を与えて 頂き誠に有難う御座いました。皆

> > お経の声がとても心地良かったで

法要はとても厳かで、皆さんの

青葉まつり記念法話 生きる力―仏さまに祈り 大藏院ご住職 仏さまと出会う―_ 有松孝真先生 6/15

て生きていくことが に、支えられていることに感謝し あらゆる垣根を越えてご縁を大切 ることなど興味深いと思いました。 八ヶ所のお寺に天台宗の宗派もあ 大師様と最澄様との関わり、 両大師様のご生涯を聞き、 川崎市 「生きる力 澤村



菊地幸夫先生のご講演

山内八十八ヶ所クイズ

話をありがとうございました。

て過ごせそうです。

大変有難い

に生かされている事を日々感謝し お聞きしました。御先祖様、仏様 られているという事を法話の中で

ころです。 ちょっとした気分転換に良いと 城址からの眺めが最高 世田谷区 東端

相模原市

でき感無量です。もうすぐ夫の らいました。八十八ヶ所をお参り ントをありがとうございました。 も八十歳、元気で過ごしておりま 初めて息子と嫁に連れてきても とても楽しめました。秀逸なヒ よい供養になりました。 浦安市 安岡

目に見えない何か、どなたかに守

生きる、生きているという事が

なんとか元気に暮らしております

身体のあちこちを痛めながらも

弘子

銀賞「山あじさい園」 あじさいの部



八王子市 佐々木 芳子



銅賞「何が写っているの?」 あじさいの部 日野市 池田 清隆

をご紹介します。

法要に参加した皆様の感想

内 消

六月十七日 (日)、 大灯籠点灯式 大灯籠

が行われました。 で行列をして、大灯籠の除幕 摩を勤修し、その後山門前ま 名にて建立され、 命日に点灯式が行われました。 々菩提の為にと絢子夫人と連 点灯式が行われました。 当日は十一時三十分の大護 勝博様が、進家先祖代 御夫人の月 (速水記

密厳流遍照講

講習会・検定会

先生、検定員に林 講習会に際し講師に柳下千佳 れ九十名が参加されました。 並びに検定会が当山で開催さ 六月十八日、御詠歌講習会 智宏先生



東京多摩教区連合会

法話をいただきました。 寺内照俊先生に「お参りのし が大日堂に於て勤修され、ご かた あれこれ」と題した御 霊へ供養のまことを捧げまし 先祖様をはじめ有縁無縁の精 法要に先立ち正覚寺ご住職 当山恒例の大施餓鬼会法要

をお迎えし、 「万霊供養盂蘭盆和讃(付迎火)」 聖徳太子御歌

うに皆様の御詠歌が響き渡っ の二曲を講習いただきました ていました。 の紫陽花を愛でるかのよ

幡山会総会(6/25

出席しました。 山貫主はじめ会員三十一名が テル立川にて、清水会長・当 会『幡山会』総会がパレスホ 六月二十五日、 高幡山法類

恒例となっている清水会長の に移りました。宴の途中では、 長の御挨拶、続いて事業報告 なごやかに親睦を深めました。 マジックショーもあり、終止 ・会計報告をすませて懇親会 総会のはじめに清水博雅会 (丸山幸記)

しながら正確な意味を知らず お施餓鬼とは何か、

思いでお参りさせていただき 持ちが湧き起こり、 がここにいるという感謝の気 向ける大切な機会と知り、 あるもののおかげで、 先祖はもとより、すべての命 縁すべての御霊に功徳を回し ました。お話を聞き、 ご先祖様の供養になればとの い時間を過ごすことができま ありがた 今自分 有縁無 ۳

参りの参考にしたいと思いま かれましてはご法話いただき した。暑い中、寺内先生にお 有難うございました。 ていただきました。日々のお お参りの仕方を丁寧に教え 日野市 小川



ご詠歌講習会の 柳下千佳先生

主催 朝比奈クリニック、 協賛日野医師会、



四季の部 銅賞「幻想五重塔」 田中 日野市

プ及びチャリティーイベントを左記の通り開催します。 ◇チャリティーイベント +一月十日(土) 午後五時開演 ◇五重塔ブルーライトアップ 世界糖尿病デ 今年も世界糖尿病デーにちなみ五重塔のブルーライトアッ ブルーライトアップコンサート 糖尿病専門医のお話 杉田貫主法話 五重塔ブルーライトアップ 村田洋一(トロンボーン奏者、作編曲家 会場 十一月十日(土)~十七日(土) 塔院大ホール

ジャズをメインとしながらあらゆるジャ 二〇」の編曲やポップス、クラシック、 映画音楽等数多くの編曲を手掛ける~ ンルで演奏活動中、 「東京五輪音頭二〇 後援 高幡不動尊

わち陶磁器全般を意味し、

さ

記録が見え、

瓦は仏教伝来と

幡 61 き ŧ **(**) 曼 茶

(4)

が目に付きました。に思います。昆虫にせいか蚊に余り刺さ !思います。昆虫にとっても厳しい夏だったのか、今年は成虫になる前に命が尽きたさなぎいか蚊に余り刺されませんでした。と同時に夏になると活動する虫たちも少なかったよう厳しかった暑さも峠を越え、高幡不動尊の境内はやっと秋めいてきました。今年は猛暑の

オニヤンマが産卵し、近くにエノキの木があるのか美しいタマムシも見掛けます。高幡山ではいろんな昆虫が脱皮し産卵をしています。大日堂脇の小流れでは毎年 いタマムシも見掛けます。稀に蛍光大日堂脇の小流れでは毎年のように

こともあります。 灯に誘われて事務局まで飛んでくる 、その地形故水に恵まれ、多くの多摩丘陵の一画でもある不動ケ丘

然に親しむ機会が少なくなっている位置する高幡不動尊の境内です。自生命が活動できるのが丘陵の境界には、その地形故水に恵まれ、多くの たる所以かも知れません。 ことが出来るのも「パワースポット」 身近に多くの動植物に巡り合う 近くの浅

曼珠沙華の強い日気 景です。 やカワセミが弁天池に遠征して来るのも良く見る光 川で狩をしたアオサギが羽を休めに来たり、 また植物は季節を正確に伝えてきます。 の球根が花を咲かせる準備をしているので射しで熟せられた地面の下ではたくさんの カ パワウ 夏

和と漢の十二万株曼珠沙華

祐勝

なにげなくつか

って

41

る仏

教のことば

瓦

か

わ

5

曼珠沙華とカラスアゲハ

カワセミ ~弁天池にて

うか?

のでしょ 係がある

と何か関 ている剣

手にされ

お不動さま教えて?

問にご利益があるほとけさまと うに、文殊菩薩さまは智恵や学 文殊の知恵」といわれているよ ていました。よく「三人寄れば そして文殊菩薩さまが安置され 所に、お釈迦さまと普賢菩薩、 りしたとき、 高幡のお不動様にお参 五重塔地下の休憩

しょうか、 いるので とされて 殊菩薩さまは智恵の功徳がある そこで質問なのですが、



タマムシ~事務局にて

されていることには、 お不動さま教えてください。 があるのでしょうか? 文殊菩薩さまが、ひと組で安置 お答え また、 釈迦如来と普賢菩薩と お答えいたしま 何か理由 どうか

と言 い換 祐勝前貫主の代、平成十六年十 手により造立されたものです。 都の北宗俊・北典生の両仏師の 教授(当時)の監修のもと、 により、京都大学の根立研介助 一月、立川市の平富郎氏の寄進

いたします。 お姿についてお答えすることに

乗り、右手には利剣、左五重塔の文殊菩薩は、 お姿をしています。 典を上に載せた蓮華を持っ #を持った 左手には

ように、『般若経』は仏の智慧慧の意であることから知られる ます。経典名の「般若」とは智体的には『般若経』とされてい 左手の蓮華の上の経典は、具 を説き明かしたもので、 心経』も 『般若経』に属する経かしたもので、『般若 典です。

なぜ文

を揮ってわたしたちの煩悩を取とより文殊菩薩は、智慧の利剣 剣はわたしたちの煩悩を断ち切ざまな煩悩のことで、文殊の利は、誤った分別より生じたさま るものであります。 除くという役割を担った仏さ 文剣は諸戯を絶つ」
、殊空海が、宗祖弘法大師薩が、宗祖弘法大師 わち、「諸戯」とおられます。すな と明快に説かれて の右手の利剣です つぎに文殊菩薩 これらのこ

を見比べてみてはいかがでしょ 像がありますので、 央にも、獅子に乗り、経典を上千体地蔵堂の正面結界の欄間中また高幡不動では、五重塔の まであることがわかります。 に載せた蓮華を持った文殊菩薩 (二頁写真参照

京

されている三尊のお像は、川澄

五重塔の塔院大ホールに安置

文殊菩薩の功徳とその

さかづき) リット語の インドの古語であるサンスク れています。 力 ・皿のこと、 パーラ」 「カパーラ」 サンスクリ は、 とい すな 盃 ッ ともに、 峻 す。 (紀元年 (五八八)、 日 [本書紀] 瓦工が来朝したとの

説によると瓦の語源は、 より仏舎利および数人の僧と らには 頭蓋骨の意味がありま によれば、 百済 崇 国 瓦葺 ともに、 た。 詞 我が国に伝わりまし

えていたそうです。 また平安時代には、 (いみことば)として避け、 (かわらぶき) 寺を忌

小林靖典

すが、心にぽっか む一婆でございま

皆様 から

0) お 便り

慶び申し上げます。 時下益々御繁多の御事とお

扨て前御貫主様

す。私は俳句を好 やみを申し上げま 去に心からのお悔 澄和上様の御逝

さを感じておりま りと穴が開いてし まったような淋し

とお声をかけて下 見に参りました折 一度程「句ですか」

句友と紫陽花を

さり、 てその御尊顔を忘れることは ありがたく

ございませんでした。 先日も

今年の紫陽花を見に参りまし

ふっとお姿が甦る思いで

介の者ではございます

に感無量の思いでございまし 様方、 ており、 御職員のご様子に本当 お心のこもった御僧

参りさせていただきました。 [内を廻らせていただき、 お

れ紫陽花の美しさを際立たせ 山内の全ては美しく整えら 参りましたが、御山に詣で「元 病を得、私も心身共に疲れて いで帰宅致しました。主人も

気とやる気」を頂

戴致しました。亡

胸に又、句にも励 き御貫主様をこの 投句させていただ んでみたいと思い

「満開の日」 次 弘 真次 きたく存じます。 す様にと念じ上げ 何時までも続きま そしてこの句会が

十二時・一時・二時半・四時五時・九時・十時・十一時・

銀賞

八王子市 栄を祈念申し上げ 皆様と御 畄 日の御繁

四季の部

げます。 平成三十年六月 乱筆失礼申し上

フリーマーケット(リサイクル市

全国俳句大会事務局 高幡不動尊あじさいまつり 狛江市 志村



がありがたく心の洗われる思

交通安全祈願

午後四時半までにお申込下午前九時~午後五時

大日堂 鳴り龍・襖絵

観

午前九時~午後四時

三〇〇円

(月曜

参拝料 二〇〇円 午前九時~午後四時

御護摩修行)ご祈願料 金三千円也

りますのでご諒承下さい。 尚法要中は拝観一時休止にな

○ご縁日(二十八日) 平日 八時)但し一日、十五日の午前中は)土曜・日曜・祝日 五時・十時・十一時半 八時・十時・十一時半 十一時半・一 時・三時

ご縁日=毎月二十八日 御護摩料 者天国になります。 境内に市が立ち参道は歩行 金参万円以上 金五千円也 金参千円也 金壱万円也

月例写経会 ござれ市(がらくた市) 千体地蔵尊月例法要 お焚き上げ 毎月二十一日午後 毎月十五日 毎月第三日曜日 毎月第二日曜日 毎月二十四日午後 午前九時 (雨天中止) (雨天決行 時 半

編集室だより

ます。これも温暖化の影響でし 地に甚大な被害をもたらしてい 温、次々とやって来る台風、各 今夏は命にかかわるような高

はと期待しています。皆様ご自 幾分か気温も下がってくるので そろ曼珠沙華の咲く頃となり、 行事案内等掲載しました。そろ あじさいまつりの諸報告、秋の 今号は三十四世貫主晋山式、

発行所

〒191-0031

別格本山

幡山金剛 電話 (042)591-0032代 (042) 593-3038

発行人 編集人 黒川高徳

年4回発行・再生紙使用